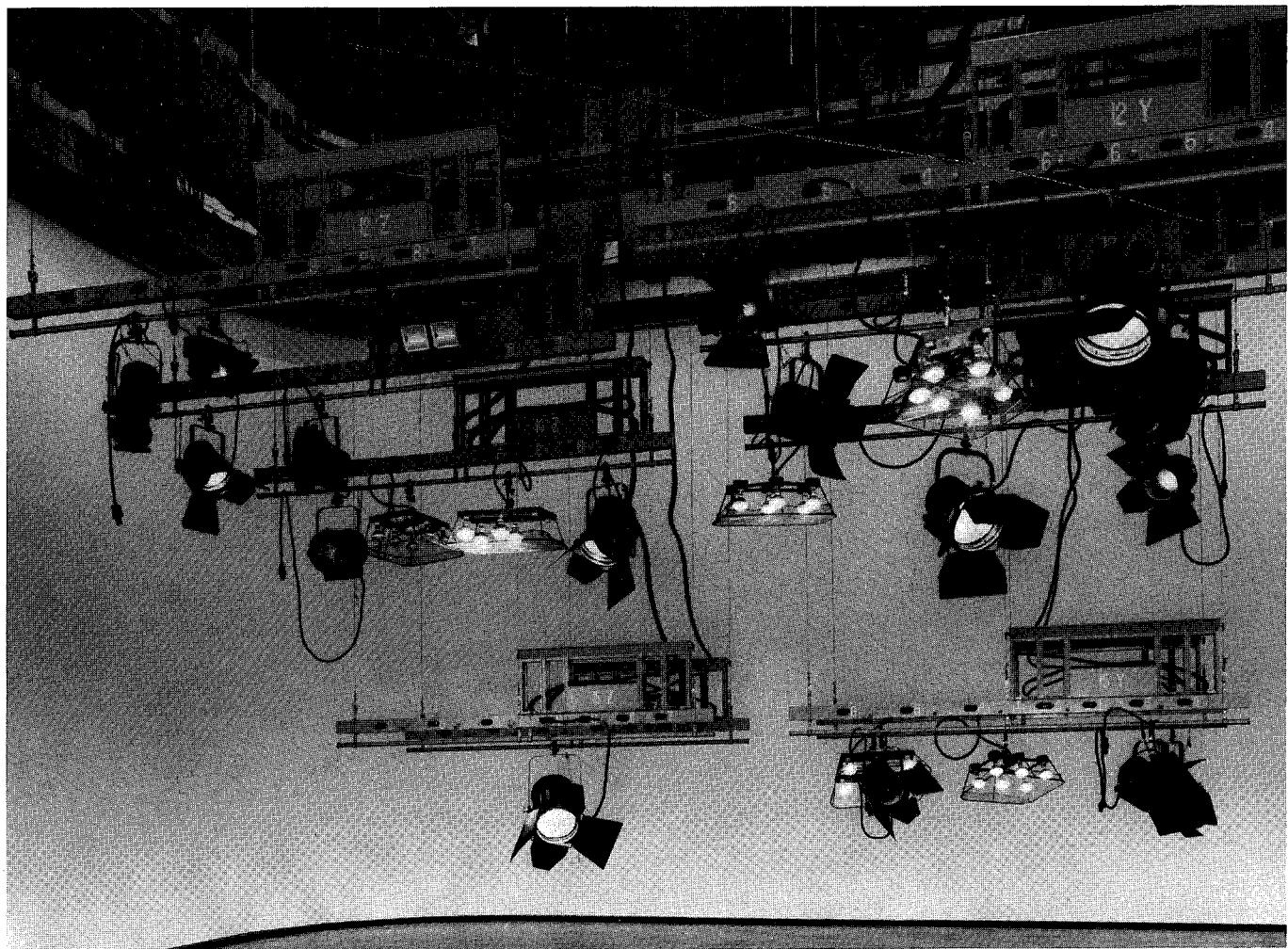
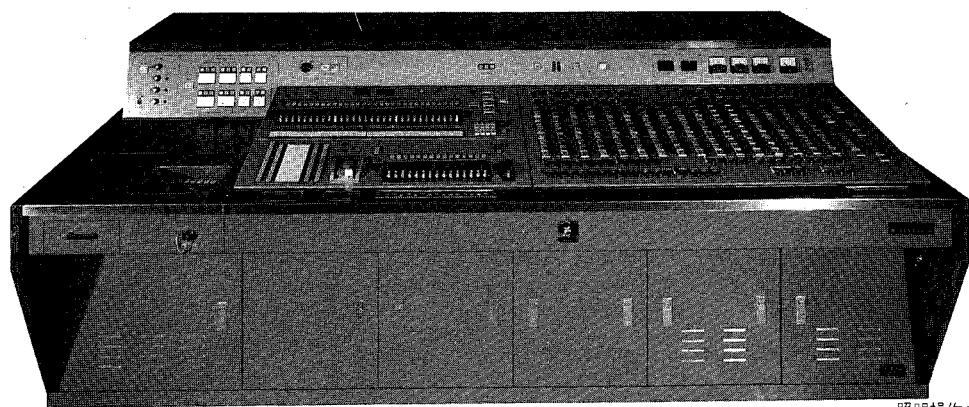


# 毎日放送Aスタジオ

## スタジオ照明設備 No. 64



Aスタジオ上部



照明操作卓

毎日放送Aスタジオ  
吹田市千里丘北1-1

**MARUMO ELECTRIC CO., LTD.**

# たわわにみのり豊かに

グラポーロディマーシステムがTVスタジオの照明システムを一新します。

TVスタジオの照明創造の現場で、最も使いやすい調光システムはどのようなものか。コンピュータ制御の調光システム—MARUMOユニファイ専門会社を、この創造現場からの発想を原点において練り上げたのが、毎日放送Aスタジオの新しい調光設備です。一般の劇場用システムとは異り、グループを操作の基本において設計し、スタジオ内のセットごとの照明変化を迅速、確実に行なえるよう、TVスタジオ独自の機能性を追求しています。名づけてグラポーロ・ディマーシステム、ちょうどぶどうの樹が複雑に枝分れしたつるの先にたわわな房をつけるように、このシステムは枝分れしたグループごとの房(セットの負荷グループ)を中心の幹(グループフェーダー)によって集中コントロールします。



照明操作卓

## 調光設備(グラポーロシステム)

### サイリスター調光器盤

30A 163台

60A 82台

### —集中制御方式—

#### 照明操作卓

プリセットフェーダー

30本

×

レクロス転換によって読出す。

#### 修正機能

実行修正、次場面修正、記憶場面修正可能、  
バックアップ

CPUと無関係に各回路毎に付属された直  
VRの操作で直接出力される。

書込選択SW

1式

次段読出し選択SW

1式

マグノカラー操作SW

1式

エフェクトパネル

1式

ミュージックカラー

1式

電子クロスバー選択操作卓

(負荷側245回路×フェーダー側30本)

×

×15場面記憶式

フェーダー側選択キーボード

1式

負荷回路押釦SW

245個

直VR

245個

### 読出し操作

GF1～GF15のフェーダーによる読出し

記憶シーン数 20シーン

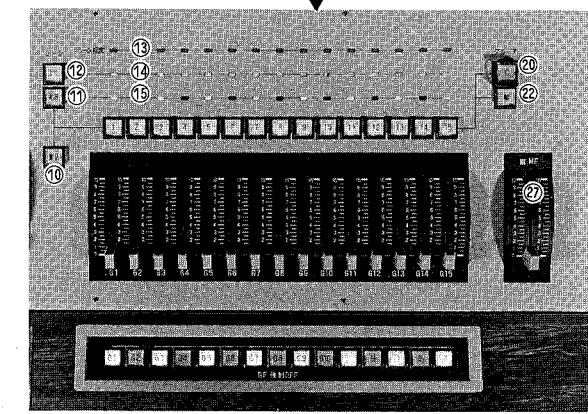
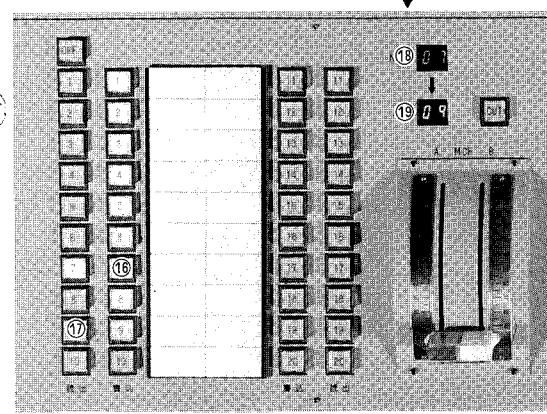
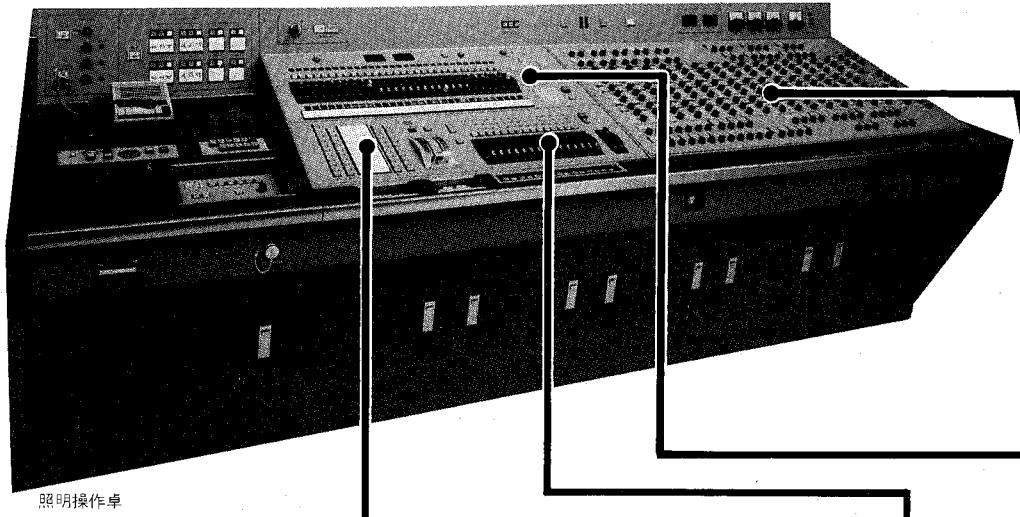
書込データソース

グループ選択SW によっておこなう、実行

中及び記憶内容のすべて

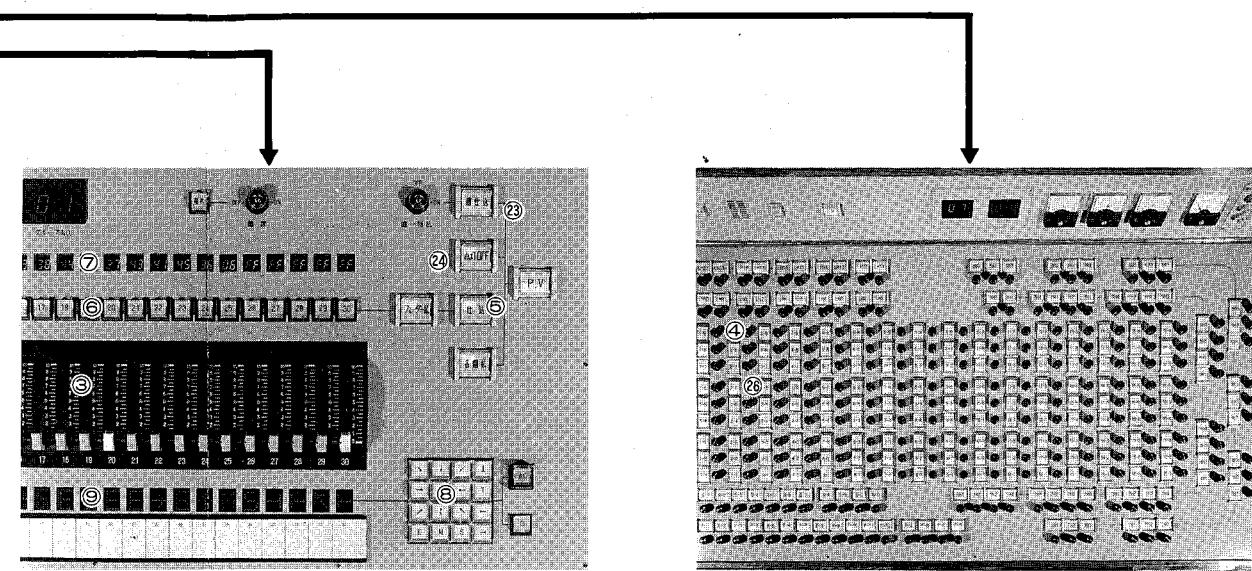
### 読出し操作

記憶シーン選択SWにより記憶場面を選択



# グラポーロディマーシステム — Aスタジオの記憶付調光システム —

毎日放送Aスタジオに設備された新しい記憶付調光システムグラポーロディマーシステムは、すでに全国の現場で多くの実績をもち高い評価を得ている大型記憶付調光システムである MARUMOユニファイルを、TVスタジオ専用のものとして完成させた新しいシステムです。TVスタジオでは、一般的な劇場の舞台照明とは異り、各シーンの記憶保存はリハーサルから本番収録までの短時間ですむことや、記憶させるシーンもスタジオ内のセットごとのグループ単位で取扱う方が合理的であることから、Aスタジオにグラポーロディマーシステムを投入して完備させました。このグラポーロシステムでは、プリセットフェーダーは30本と少い数に絞り、グループフェーダーを15本とし、グループごとにそれぞれのプリセット値と、負荷回路の選択接続がメモリーされ、実質的には450本(30×15)のフェーダー数を備えていることになります。そして、セットごとの点滅は、G1～G15のグループフェーダーでおこなわれます。又この15グループの自由加算選択を1シーンとして20シーンの記憶ができます。



## グループ記憶書き込み操作

(調光レベル、調光選択接続、LEDメモ)

グループフェーダー①をグループ指定SW②で指定する(フリッカ一点灯する)  
プリセットフェーダー③と負荷回路を接続する操作として仕込SW⑤をONにし、プリセット指定SW⑥を指定し押すと指定されたSW⑥はフリッカ一点灯します。次に負荷選択押釦SW④を押すと、この負荷回路は、SW⑥で指定されたフェーダー回路に接続されます。

接続されたプリセットフェーダーの調光レベルはレベルインジケーター⑦に表示されグループ操作の記憶書き込みは完了します。

## LEDメモ書き込み

フェーダー指定SW⑧がONしている時(フリッカ一点灯) LEDメモ選択SW⑨を押すと、押したLEDメモが指定されたフェーダーのLEDメモ表示器⑩に書き込まれ表示されます。(LEDメモはフェーダーに付属する照明器具の種類及びその方向など照明担当者のメモをLED表示します)

## グループメモリー修正操作

グループ指定SW②の指定されたグループフェーダーの調光レベルは、レベルインジケーター⑦に表示されますが、インジケーターのレベルにプリセットフェーダーのレベルを合致させるとプリセットフェーダーの一一致LEDが点灯します。

点灯することによって、記憶されている明りが、自動的にプリセットフェーダーに乗り移り、プリセットフェーダーの操作で修正することができます。

## シーンメモリー書き込み操作

シーンメモリー書き込みSW⑪をONにし、書き込むグループをグループ指定SW⑫で指定すると、シーンメモリー書き込み指定表示LED⑬が点灯します。次に書きみたいシーンNoを書き込み選択SW⑯で選択し、このSWを押すと指定されたグループメモリーの調光レベルがそのシーンメモリーに書き込まれます。

## シーンメモリー読み出し操作

読み出すシーンNoを次場面選択SW⑰で選択すると、G点灯し、そのシーンはNEXTシーン表示器⑯に表示されNEXTに読み出されるグループは、次場面表示LED⑯に表示されます。クロス転換により、次場面にセットされたシーンメモリーの内容が実現りとしてでできます。クロス転換がいきつくと、次場面には自動的に次の記憶されたシーンNoがセットされます。又強制的に次場面を指定することも可能です。

## シーンメモリー実行修正操作

実行修正SW⑪をONにし、修正を要するグループのグループ指定SW②を押すと、メモリー内容が読み出されインジケーター⑦に表示されます。プリセットフェーダー③を操作し、既に記憶されている調光レベルとプリセットフェーダー値と一致させた後(修正一致表示灯が点灯する)にプリセットフェーダーで調光レベルを修正します。これによって“実現り”の修正と同時にシーンメモリーの内容も修正することができます。

## 次場面修正操作

次場面修正SW⑯をONにし、次に修正を要するグループフェーダーのグループ指定SW②を押すとメモリーの内容がインジケーター⑦に読み出されます。修正操作は実行修正と同じ手順で行えます。(但しこの修正操作には“実現り”は関係しません)

## グループメモリー・シーンクリヤ操作

グループフェーダーのメモリーをクリヤする場合クリヤSW⑮をONにし、クリヤするグループフェーダーのグループ指定SW②を押すことによりクリヤされます。(LEDは消灯します)

シーンメモリーをクリヤする場合は、シーンクリヤSW⑯をONにし、クリヤするシーン書き込み選択SWを押すことによりクリヤされます。

## 転送操作

調光仕込まれているグループの回路接続調光レベル、LEDメモなどを他のグループに転送する場合は転送SW⑯をONし、転送させるグループフェーダーの指定SW②(点灯している)をONし、転送するグループフェーダーの指定SW⑯をONすることにより転送することができます。

## 直仕込み操作

負荷回路を直に接続する場合は直仕込みSW⑯をONにし、任意の負荷選択押釦SW④を押すことにより直仕込みされます。又もう一度押すことにより解除されます。直仕込み済みの回路は各回路ごとに付属された直VR⑯によって調光することができます。

直仕込み状態の時に直マスターフェーダー⑯により一括調光することも可能です。

## OFF仕込み操作

調光仕込み済みの負荷回路を一時的にOFF(消灯)にする操作で、点灯OFF SW⑯をONにして任意の負荷選択押釦SW④(調光仕込み済みのもの)を押すことによって点灯OFFとなり負荷選択押釦SWのOFF仕込済表示灯⑯がフリッカ一点灯し、実現りは消灯となります。押釦SW④をもう一度押すと点灯OFF状態は解除され、調光状態に戻ります。

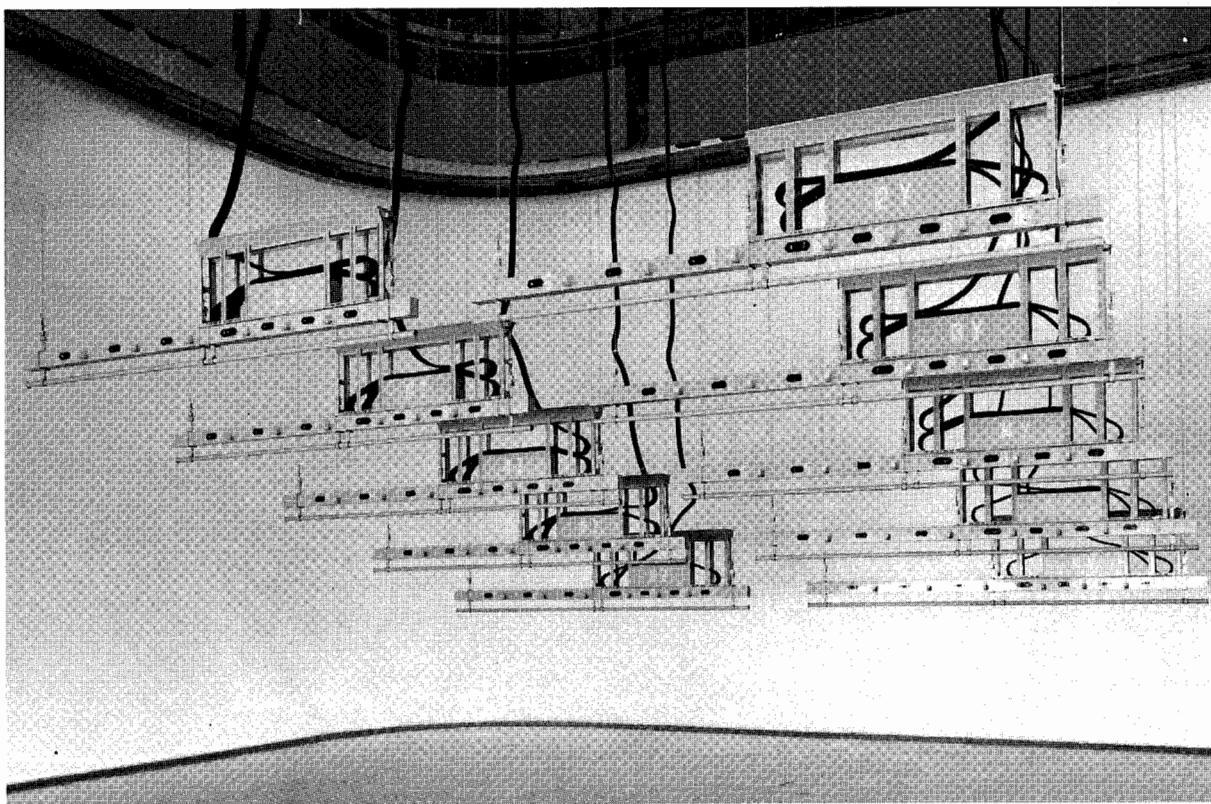
## バックアップ操作

EM・SW⑯をONにするとシーンメモリー、グループメモリーは切離され、負荷の実現りは各回路ごとに付属した直VR⑯の操作で直接されます。

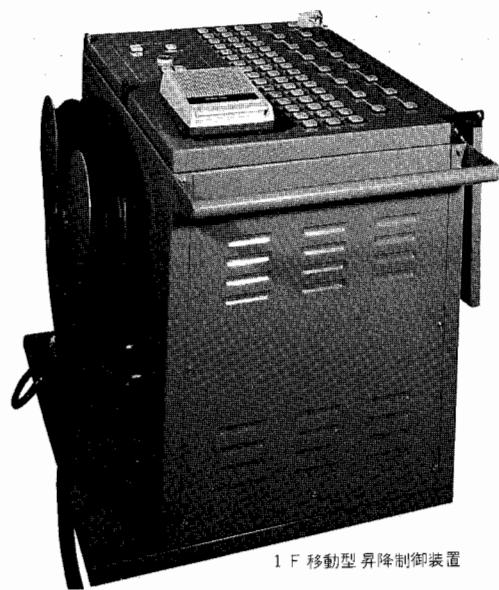
- ①グループフェーダー
- ②グループ指定SW
- ③プリセットフェーダー
- ④負荷選択押釦SW
- ⑤仕込SW
- ⑥プリセット指定SW
- ⑦レベルインジケーター
- ⑧LEDメモ選択SW
- ⑨LEDメモ表示器
- ⑩シーンメモリー書き込みSW
- ⑪実行修正SW
- ⑫次場面修正SW
- ⑬シーンメモリー書き込み指定表示LED
- ⑭次場面表示LED
- ⑮実行場面表示LED
- ⑯シーン書き込み選択SW
- ⑰次場面選択SW
- ⑱NEXTシーン表示器
- ⑲実行シーン表示器
- ⑳グループメモリークリヤSW
- ㉑シーンクリヤSW
- ㉒転送SW
- ㉓直仕込みSW
- ㉔点灯OFF SW
- ㉕EM・SW
- ㉖直VR
- ㉗直マスターフェーダー

# Aスタジオの昇降制御装置

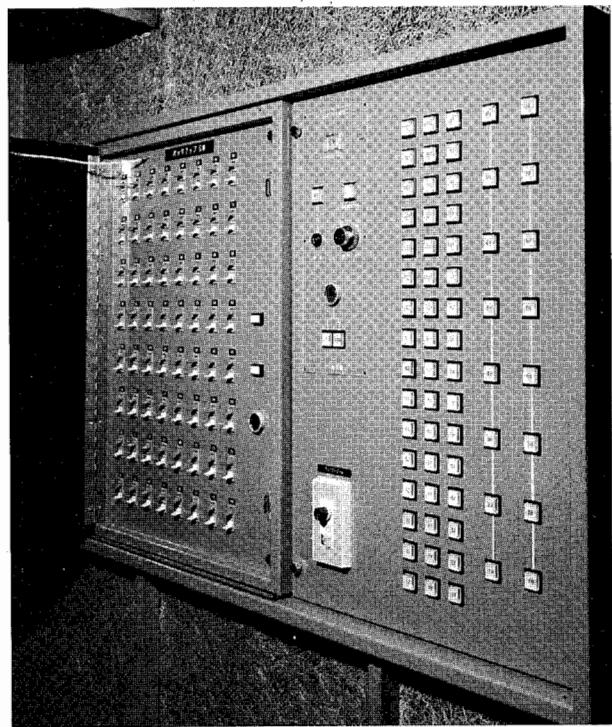
毎日放送Aスタジオのライトバトン64本の昇降制御はコンピュータを使った制御装置でコントロールされ、安全で操作性のよいものになっています。1Fと2Fにそれぞれ操作部があり、1Fの操作部は移動型でコネクターBOXから15mまでの範囲で自由移動が可能です。



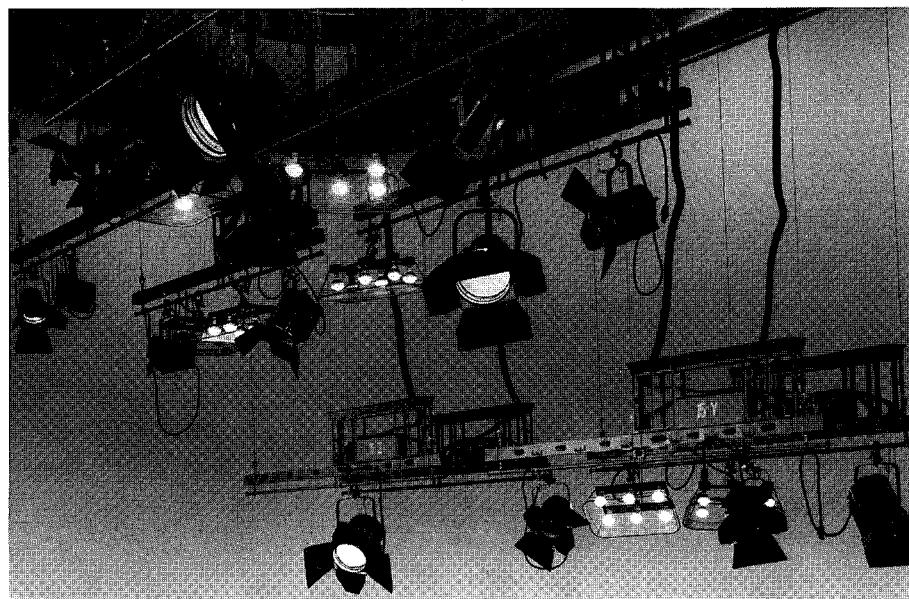
ライトバトン



1F 移動型 昇降制御装置



2F 昇降制御装置



A スタジオ上部

## 負荷設備

設備容量 3φ4W300KVA

ライトバトン 48本

バックバトン 8本

ホリゾントライト8本

ホリゾントライト(カラーチェンジ方式)

UH2系統各3色変換可能

LH2系統各2色変換及び白色



毎日放送全景

## 丸茂電機株式会社

◆本社・営業部◆

東京都千代田区神田須田町1-24 〒101

TEL (03) 252-0321(代表)

◆大阪出張所◆

大阪市北区野崎町9-6(東梅田ビル) 〒530

TEL (06) 312-1913・1922

◆名古屋出張所◆

名古屋市中区栄4丁目1-1(中日ビル) 〒460

TEL (052) 261-1111(内線425)